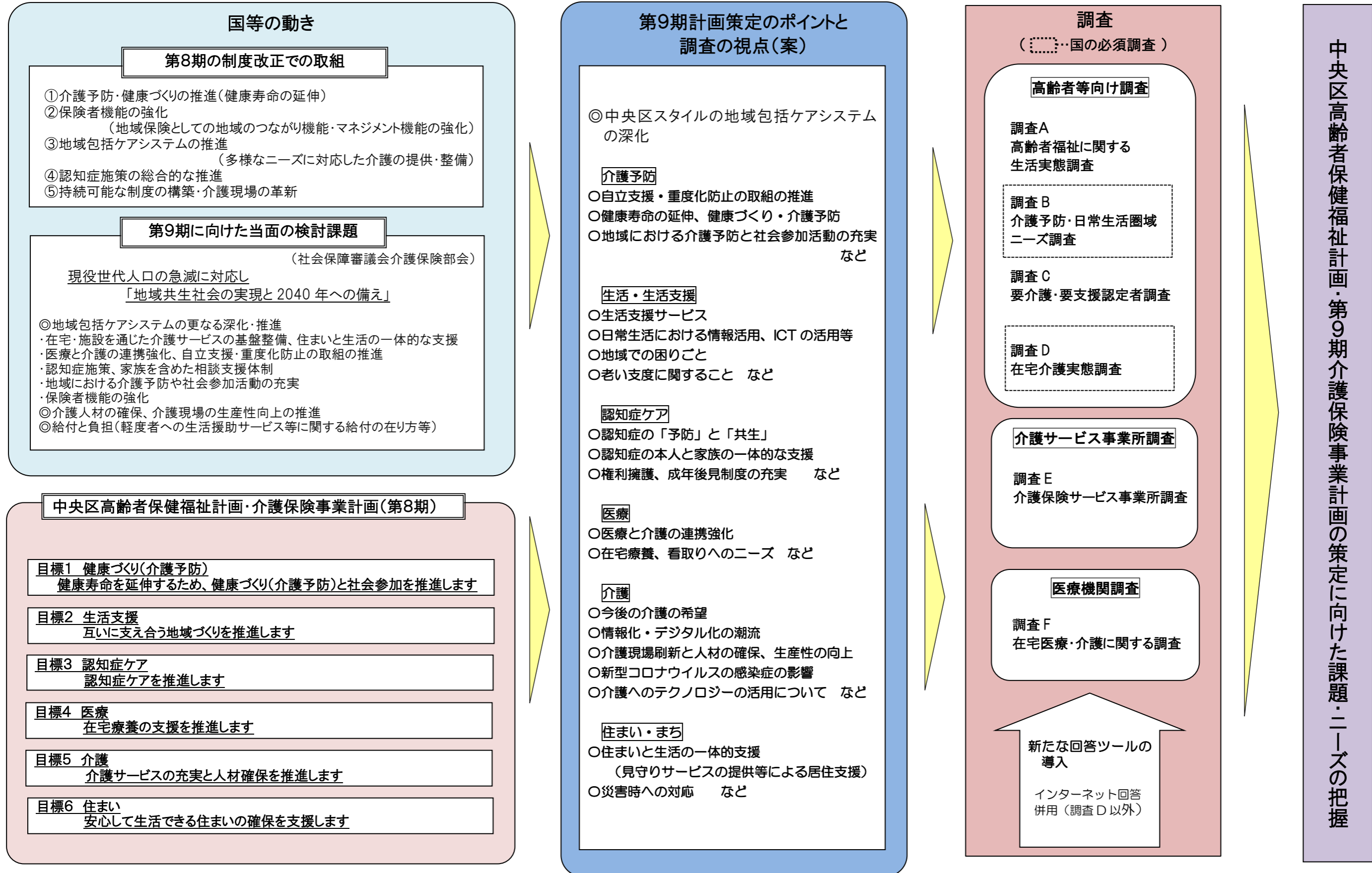


高齢者の生活実態調査及び介護サービス利用状況等調査案

1 中央区高齢者の生活実態調査及び介護サービス利用状況等調査の考え方

・本調査は、中央区高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第8期）の取組や国及び東京都の動向等をふまえ、第9期計画策定のための基礎資料を得ることを目的に実施するものです。



2 調査の全体像

(1) 調査目的

要介護・要支援認定を受けていない一般高齢者等や要介護・要支援認定者等の生活実態、介護保険サービスを提供している事業者、医療機関の実態等を把握し、中央区高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画の見直しに向けて、必要な資料を得ることを目的として実施する。

(2) 調査の全体構成

調査は『高齢者等向け調査』、『介護サービス事業所調査』、『医療機関調査』の3つから構成する。

(3) 前回調査との変更点

- 高齢期を迎える前から取り組むべき「健康づくり」や「社会参加活動」等について、50代後半の中年期の実態を把握し、高齢者施策の検討に活用するため、調査Aの対象年齢を60歳から55歳に引き下げた。
- 他調査と重複する設問等を中心に内容を見直し、設問数を減らした。
- 調査本数を10本から6本に見直した。
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による生活の変化やICT・デジタル機器の利用状況などの設問を追加した。

(4) 調査の全体構成

	属性		一般高齢者等	要支援認定者	要介護認定者	
	年齢					
高齢者等向け調査	55～64歳		調査A 高齢者福祉に関する生活実態調査			
	65歳以上		調査B 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査			
				調査C 要介護・要支援認定者調査		
				調査D 在宅介護実態調査		
介護サービス事業所調査		調査E 介護サービス事業所調査				
医療機関調査		調査F 在宅医療・介護に関する調査				

(5) 調査の期間

令和4年10月下旬～11月中旬

(6) 調査方法

郵送配布、郵送又はインターネット回収（ハガキ督促1回）

※「在宅介護実態調査」（調査D）は、令和4年6月～令和4年11月の間、認定調査員の聞き取り方式により実施

<参考>

前回調査(令和元年度)	今回調査(令和4年度)
<p>【一般高齢者等】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>調査A 高齢者の生活実態調査 (60歳以上)</p> <p>調査B 日常生活圏域ニーズ調査</p> <p>調査C 健康づくりと介護予防に関する調査</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>調査A 高齢者福祉に関する生活実態調査 (55歳以上)</p> <p>調査B 日常生活圏域ニーズ調査</p> </div>
<p>【要介護・要支援認定者】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>調査D1 介護保険サービス利用状況等調査 (居宅サービス利用者) (統合)</p> <p>調査E 介護保険サービス利用状況等調査 (施設サービス利用者)</p> <p>調査D2 在宅介護実態調査</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>調査C 要介護・要支援認定者調査</p> <p>調査D 在宅介護実態調査</p> </div>
<p>【サービス事業者】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>調査F1 介護保険サービス事業者調査 (居宅介護支援事業者)</p> <p>調査F2 介護保険サービス事業者調査 (居宅サービス事業者)</p> <p>調査F3 介護保険サービス事業者調査 (施設サービス事業者)</p> <p style="text-align: right;">(統合)</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>調査E 介護保険サービス事業者調査</p> </div>
<p>【医療機関】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>調査F 在宅医療・介護に関する調査</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>調査F 在宅医療・介護に関する調査</p> </div>

3 各調査の概要

調査A 高齢者福祉に関する生活実態調査

(1) 調査の目的

55歳以上の区民の意識や生活実態、健康づくりの取り組み状況や生活習慣、社会活動への参加状況からみた課題やニーズを把握する。

(2) 対象及び設問数

【対象（母集団）】 要介護・要支援認定を受けていない55歳以上の区民 約38,000人

【標本数】 3,000人

【調査項目数】 41問

(3) 設問項目（属性を除く。）

経済状況や就労状況	<input type="checkbox"/> 経済状況 <input type="checkbox"/> 収入額 <input type="checkbox"/> 就労状況
外出や楽しみ	<input type="checkbox"/> 外出先 <input type="checkbox"/> 普段の生活で楽しいこと、今後取り組みたいこと
社会的な活動や地域活動への参加状況	<input type="checkbox"/> 社会的な活動や地域活動への参加状況
日常生活における情報	<input type="checkbox"/> 日常生活でもっとほしいと思う情報 <input type="checkbox"/> 日常生活に関する情報の入手先 <input type="checkbox"/> 情報収集のためのインターネット利用頻度 <input checked="" type="checkbox"/> 日常生活で使用している ICT（情報・通信）機器 <input checked="" type="checkbox"/> ICT（情報・通信）機器を使用していない理由 <input type="checkbox"/> 日常生活に関する情報に対する満足度 <input checked="" type="checkbox"/> スマホやアプリの使い方講座への参加意向
健康教室や健康づくり事業への参加	<input type="checkbox"/> スポーツクラブや体操教室等への参加の有無 <input type="checkbox"/> 参加しようと思う条件 <input type="checkbox"/> 区で行っている高齢者健康づくり事業の認知度 <input type="checkbox"/> 高齢者健康づくり事業の情報入手先 <input type="checkbox"/> 参加したいと思う健康づくり事業 <input type="checkbox"/> 継続的参加のための条件
交流サロン・趣味の講座・サークル活動への参加	<input type="checkbox"/> 交流サロン・趣味の講座・サークル活動への参加の有無 <input type="checkbox"/> 参加しようと思う条件
災害時の対応	<input type="checkbox"/> 災害への備え <input type="checkbox"/> 「中央区災害時地域たすけあい名簿」の認知度
今後の介護の希望	<input type="checkbox"/> 今後希望する介護 <input type="checkbox"/> 終末期に介護を受けたい場所 <input type="checkbox"/> 延命治療についての考え <input type="checkbox"/> 延命治療の希望を伝えた人
老い支度(終活)	<input checked="" type="checkbox"/> 老い支度として関心のあること <input checked="" type="checkbox"/> 支援があつたらよいこと
今後の高齢者保健福祉施策	<input type="checkbox"/> 介護保険サービスと介護保険料のあり方 <input type="checkbox"/> 今後力を入れるべき高齢者保健福祉施策 <input type="checkbox"/> 高齢者向けサービスなどに関する自由意見
新型コロナウイルス感染症	<input checked="" type="checkbox"/> 新型コロナウイルス感染症による生活の変化

※★：新規に追加する項目 ：前回調査と同じ内容の項目

調査 B 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査(国の必須調査)

(1) 調査の目的

区内に居住する一般高齢者、介護予防・日常生活支援総合事業対象者、要支援者の要介護状態になる前の高齢者のリスクや生活状況等を調査し、国の地域包括ケア「見える化」システムによる地域診断を活用して、地域の高齢者の抱える課題やニーズを把握する。

(2) 対象及び設問数

【対象(母集団)】 要介護認定を受けていない65歳以上の被保険者 約22,000人

【標本数】 2,500人

【調査項目数】 42問

(3) 設問項目(国の必須項目。属性を除く。)

家族や生活状況	<input type="checkbox"/> 家族構成 <input type="checkbox"/> 介護・介助の要否 <input type="checkbox"/> 経済的な生活状況 <input type="checkbox"/> 住宅の種類
運動器機能・閉じこもり傾向	<input type="checkbox"/> 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか <input type="checkbox"/> 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか <input type="checkbox"/> 15分位続けて歩くこと <input type="checkbox"/> 過去1年間に転んだ経験 <input type="checkbox"/> 転倒に対する不安度 <input type="checkbox"/> 外出の頻度 <input type="checkbox"/> 外出の回数が減っているか
食べること	<input type="checkbox"/> 身長・体重・BMI <input type="checkbox"/> 口腔機能 <input type="checkbox"/> 入れ歯の有無と数 <input type="checkbox"/> 孤食の状況
毎日の生活	<input type="checkbox"/> 認知機能の状況 <input type="checkbox"/> 交通手段を使って一人で外出できるか <input type="checkbox"/> 自分で買物ができるか <input type="checkbox"/> 自分で食事の用意ができるか <input type="checkbox"/> 自分で請求書の支払いができるか <input type="checkbox"/> 自分で預貯金の出し入れができるか <input type="checkbox"/> 友人・知人と会う頻度
地域での活動	<input type="checkbox"/> 社会参加の状況 <input type="checkbox"/> 地域づくりへの参加意向/参加者として/企画・運営者として <input type="checkbox"/> 地域の人からの期待や頼り
たすけあい	<input type="checkbox"/> 愚痴を聞いてくれる人/聞いてあげる人 <input type="checkbox"/> 看病してくれる人/あげる人
健康	<input type="checkbox"/> 主観的健康感 <input type="checkbox"/> 主観的幸福感 <input type="checkbox"/> 気分が沈んだりゆううつな気持ちになったりすることがあるか <input type="checkbox"/> 物事に対して興味がわかない、心から楽しめない感じがよくあるか <input type="checkbox"/> 喫煙習慣 <input type="checkbox"/> 現在治療中または後遺症のある病気
認知症	<input type="checkbox"/> 認知症状の有無 <input type="checkbox"/> 認知症に関する相談窓口の認知度

※○：前回調査と同じ内容の項目

調査 C 要介護・要支援認定者調査

(1) 調査の目的

要介護・要支援認定を受けた地域の高齢者の生活実態、生活状態からみた課題やニーズを把握する。

(2) 対象及び設問数

【対象（母集団）】 要介護・要支援認定を受けている被保険者 約 5,000 人

【標本数】 3,500 人

【調査項目数】 40 問

(3) 設問項目（属性を除く。）

生活状況
<input type="radio"/> 経済的な暮らしの状況 <input type="radio"/> 住まいの種類 ★相談や手助けを頼める家族や友人の有無 ★日常生活において使用している ICT（情報・通信）機器 ★ICT（情報・通信）機器を使用していない理由 <input type="radio"/> かかりつけの医師、歯科医師、薬局、薬剤師の有無 <input type="radio"/> 現在治療中または後遺症のある病気
介護保険(予防)サービス
<input type="radio"/> 現在利用している（予防）サービス、知っている（予防）サービス <input type="radio"/> （予防）サービス利用料の負担感 <input type="radio"/> （予防）サービスを利用してからの生活環境や身体状況の変化 <input type="radio"/> 施設等への入所・入居の検討状況 <input type="radio"/> 現在利用している介護保険外サービス <input type="radio"/> 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス
サービスのあり方
<input type="radio"/> ケアプランの満足度 <input type="radio"/> ケアマネジャーの満足度 <input type="radio"/> ケアマネジャーの仕事への評価 <input type="radio"/> 今後希望する介護 <input type="radio"/> 終末期に介護を受けたい場所 ★アドバンス・ケア・プランニングの理解度 ★人生の最終段階における医療・介護について行っていること
相談・権利擁護
<input type="radio"/> 困った時の連絡先 <input type="radio"/> 「おとしより相談センター」の認知・利用状況 <input type="radio"/> 成年後見制度の認知度 <input type="radio"/> 成年後見制度の利用意向 <input type="radio"/> 権利擁護支援事業の認知度 <input type="radio"/> 権利擁護支援事業の利用意向 <input type="radio"/> 認知症になっても住み慣れた家で暮らしたいか <input type="radio"/> 認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けるために必要なこと
今後の高齢者保健福祉施策
<input type="radio"/> 今後の介護保険サービスと介護保険料のあり方 <input type="radio"/> 今後力を入れるべき高齢者保健福祉施策 <input type="radio"/> 高齢者向けサービスなどに関する自由意見
新型コロナウイルス感染症
★新型コロナウイルス感染症による生活の変化

※★：新規に追加する項目 ：前回調査と同じ内容の項目

調査 D 在宅介護実態調査(国の必須調査)

(1) 調査の目的

主に在宅で要支援・要介護認定を受けている方を対象として、在宅での介護の状況を調査し、「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスのあり方を検討する。

(2) 対象及び設問数

【対象(母集団)】在宅で生活している要介護・要支援認定者のうち、調査期間中に更新申請又は区分変更申請に伴う認定調査を受けた者 約 300 人(悉皆) *認定調査員による訪問

【標本数】300 人

【調査項目数】13 問

(3) 設問項目(国の必須項目。属性を除く。)

[A 票]

介護状況
<input type="checkbox"/> 介護頻度 <input type="checkbox"/> 主たる介護内容(身体介助・生活援助・その他)
<input type="checkbox"/> 主たる介護者の性別・年齢
<input type="checkbox"/> 主たる介護内容(身体介助・生活援助・その他)
<input type="checkbox"/> 介護を理由に離職したことがあるか
今後の介護
<input type="checkbox"/> 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス
<input type="checkbox"/> 今後の施設入所・入所の検討状況

[B 票]

介護者
<input type="checkbox"/> 介護者の勤務形態 <input type="checkbox"/> 働き方の調整状況 <input type="checkbox"/> 今後の就業についての展望
在宅介護について不安に感じること
<input type="checkbox"/> 自宅介護で不安に感じる介護はなにか(身体介助・生活援助・その他)

※○：前回調査と同じ内容の項目

調査 E 介護サービス事業所調査

(1) 調査の目的

介護保険サービス事業者が提供するサービス内容や医療との連携などの実態と課題を把握することによって、介護保険サービスの質の向上に向けた方策を検討する。

(2) 対象及び設問数

【対象（母集団）】区内居宅介護支援・居宅サービス及び施設サービス事業所 約 140 カ所（悉皆）

【標本数】140 件

【調査項目数】31 問

(3) 設問項目

事業所・施設情報
○所在地 ○指定サービス ○職員数 ○中央区からの情報の入手場所 ○昨年度の事業採算について
人材育成・教育
○人材育成・教育制度の導入有無 ○介護職員の不足感 ○昨年 1 年間の職員の離職状況 ○離職者が出ないような工夫 ○外国人介護人材の有無 ○外国人人材の受入れ意向
介護現場の刷新や科学的介護
★ICT の活用状況 ★介護ロボットやテクノロジーの活用（施設系事業所のみ）
自立支援・介護予防・重症化防止
★自立支援・重症化防止に関する取組 ★総合事業に期待されること
医療・介護との連携
○医療・介護との連携の状況 ○医療・介護連携を進める上で情報共有をどのような方法で進めるか
在宅医療・看取り
○看取りで最も重視していること ○施設運営の課題
高齢者の虐待
○高齢者虐待を防止する取り組み
認知症の支援
○認知症の利用者の状況で大変なこと ○認知症の方の支援にあたり特に必要と思われること ○認知症の利用者の家族への支援として必要と思われること ○地域住民の認知症の理解を促進するために必要と思われること
地域課題の解決
★利用者と接する中で感じている地域の生活課題 ★課題解決のために必要だと考えること
災害時の対応
○災害発生時の対処方法に関するマニュアル等の有無 ○災害発生時の避難や安否確認に関する訓練の実施状況 ○災害時の備えとしての地域との連携の程度 ○大規模災害が発生した時の対処方法についての課題（自由記述）
新型コロナウイルス感染症
★新型コロナウイルス感染症によるサービス提供への影響

※★：新規に追加する項目 ○：前回調査と同じ内容の項目

調査 F 在宅医療・介護に関する調査

(1) 調査の目的

「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律」(医療介護総合確保法)を踏まえて、医療機関側からみた在宅療養支援の実態や課題等を把握する。

(2) 対象及び設問数

【対象(母集団)】 医師会等の会員が勤務する医療機関 計600件(悉皆)

【標本数】 600件

【調査項目数】 23問

(3) 設問項目

在宅医療の実施状況
○「往診」や「訪問診療」の実施状況・意向 ○在宅療養支援の実施状況 ○訪看ステーションとの連携に関する課題 ○薬局との連携に関する課題
日常的な在宅療養
★日常的な在宅療養で課題になっていること ○関係機関、職種との連携状況 ○認知症の患者の状況で大変なこと ○介護サービス事業所との連携状況 ○ケアマネとの連携課題 ○おとセンとの連携課題 ★ICTツール使用の有無 ★どのように利用しているか ★使用していない理由
看取りに関する事
○1年間に在宅で看取った患者数 ★看取りのための訪問先(自宅、施設、その他) ★どのような条件があれば看取りが可能か ○看取りについて最も重視していること ★看取りに関する課題 ★アドバンス・ケア・プランニングの活用経験
地域包括ケアシステムの深化・推進に関する事
○地域包括ケアシステム構築に向けて行政が取り組むべき課題 ○自由記入欄
新型コロナウイルス感染症
★新型コロナウイルス感染症によるサービス提供への影響

※★：新規に追加する項目 ○：前回調査と同じ内容の項目